

吉田村 Village

地域活性化計画「吉田村 Project」の拠点施設。
築 80 年の大谷石蔵のコンバージョン計画。



豊かな農業環境が広がる吉田村



当初イメージスケッチ（事業者：伊藤敦彦）

■ 地域活性化計画「吉田村 Project」

計画地の現栃木県下野市に位置する旧吉田村はかつて旧吉田村農協を中心に活気あふれる村であったが人口減少・少子高齢化と市町村合併に伴う農協の撤退により「むら」の活気だけでなく郷土愛すら薄れつつあった。この状況を憂いた地元の有志でかつての賑わいを取り戻そうと発足したのが「吉田村 Project」である。この地に広がる何でもない田園風景は豊かな農業環境を意味し、「ここならではのコト」としてアグリツーリズムによる魅力の創出、地域住民と来村者による新たな経済圏を生むことで持続的なコミュニティの実現を目指した。現在、プロジェクトは Phase2 まで推移してきており応援・参画する地域住民も増えつつあり、それぞれが「ここで暮らす新たな価値」を見出し始めてきた。地域ぐるみで「吉田むら暮らし」が育まれていくことを期待する。

■ プロジェクトフェーズ

- 1 **地域資源の再認識と発信（実施）**
 - ・地元食材を使ったイタリアンレストランの開業
 - ・農業体験イベントや「吉田村まつり」の開催
- 2 **拠点の整備（実施）**
 - ・Project 拠点、「吉田村 Village」の整備
 - ・旧農協施設、旧農協周辺の拡張利用
- 3 **集落全体に展開**
 - ・地元農家によるアグリツーリズムの展開
 - ・空家を利用したアルベルゴ・ディワフュージュの展開
- 4 **将来への展望**
 - ・住民による新たな経済活動の誘発
 - ・地域コミュニティの再構築・持続化



イタリアンレストラン - 吉田村産食材のおいしさを伝える



「吉田村まつり」の様子 - 県内外から多くの人を集める



プロジェクト中心計画地（旧吉田村農協跡地）